

事業番号	05 08 20	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	障がい者福祉センター運営事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・局・室	障がい者支援課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6－2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり					
		2 障がい者支援の充実			実施期間	H10 ～	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	スポーツ、レクリエーション、文化活動や各種研修等を通じて、県内の障がい者の健康増進と社会参加を促進する。						
現状（予算編成時）	障がい者のニーズに対応したスポーツや文化活動の定期教室や講座を開催し、中核拠点として利用されている。センターを利用できない障がい者のスポーツ、レクリエーション活動を支援するため、駒ヶ根、松本、佐久を地域拠点（サンスポート）としてスポーツ指導員による出張スポーツ教室を実施しており、ニーズが増加している。						
県が関与する理由	県でなければ実施不可（その他）		【左記の説明、根拠法令等】 県内唯一の障がい者優先のスポーツ・文化施設として、スポーツ活動や文化芸術活動の指導、推進の中心的な役割を果たす必要がある。（身体障害者福祉法第28条）				
	県民との協働による実施：実施は困難						
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）						
	・利用者数135,000人（過去2年間同程度） ・出張スポーツ教室参加者数9,900人（過去2年間同程度） ・利用者満足度90%以上（過去2年間同程度） 【設定理由】障がい者の福祉の増進を図ることを目的として、スポーツやレクリエーション、文化活動等を総合的に提供する社会福祉施設であるため、その利用者数、出張スポーツ教室参加者数、利用者満足度を設定						
	② 事業内容（単位：千円）						
	項目	実施方法	H28事業実績		H28 (当初) (決算)		H29 (当初)
	1 指定管理委託料	指定管理	障がい者福祉センターの管理運営 指定管理者へ委託（障がい者スポーツ振興グループ）		267,291	267,291	267,365
	2 指定修繕委託料	指定管理	①渡り廊下修繕工事 ②非常用直流電源装置等修繕 指定管理者へ委託（障がい者スポーツ振興グループ）		9,341	9,341	9,095
	3 看護大プール光熱水費	直接	長野県看護大プールの光熱費の負担 （サンスポート駒ヶ根においてのプール開放分）		1,906	1,906	1,906
			合計		278,538	278,538	278,366
事業コスト	区分（単位：千円）		27年度	28年度	29年度		
	予算額	前年度繰越					
		当初予算	301,678	278,538	278,366		
		補正予算					
		合計（A）	301,678	278,538	278,366		
	Aの財源	一般財源	276,759	277,456	278,358		
		県債	22,000				
		国庫支出金					
		その他	2,919	1,082	8		
	決算額（B）	300,923	278,538				
概算人件費	職員数（人）	0.10	0.10	0.10			
	概算人件費（C）	828	791	791			
	概算事業費（B（A）+C）	301,751	279,329	279,157			
成果目標の達成状況							
項目	H26末	H27末	H28 目標 成果 達成状況		H29 目標		
利用者数	134,364人	135,577人	135,000人	134,925人	未達成	—	
出張スポーツ教室利用者数	9,924人	9,054人	9,900人	10,685人	達成	—	
利用者満足度（ふつう以上）	92.6%	91.1%	90%	92.7%	達成	—	
目標に対する成果の状況	・利用者数は目標とほぼ同等の成果を得ており、そのうち障がいのある方の利用者数は平成27年度の67,946人から平成28年度は68,593人と増加し、更にスポーツ・文化活動を促進することができた。 ・出張スポーツ教室は実施回数の増加や出張地域の拡大を図ることにより平成27年度の9,054人から約20%増加の10,685人となり、地域の身近な場所でスポーツに親しめる機会を提供した。 ・利用者満足度は、利用者の意見を運営に反映させることで平成27年度から1%以上増加し、利用者のニーズに更に応えることができた。						

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	障がい者のニーズに沿った事業の充実と利便性の向上に努め、利用者の裾野の拡大を図っていく。